

## 鶏冠山・木賊山

2015.11.3 (祭) 晴れ Nさんと

11/3～5 に山梨百名山5座（鶏冠山・甲武信岳・破風山・雁坂嶺・本社ヶ丸）に登って来ました。3回に分けて日毎に掲載します。

11/3 自宅 2:20～双葉SAでNさんと合流し～5:20 道の駅みとみ（車を置きNさんの車で）5:50～5:55 西沢溪谷登山口P 6:00～6:30

二俣吊橋～8:30 チンネのコル～9:00 第一岩場 9:10～9:45 鶏冠山

（とさかやま、2115M、山梨百名山、昼）10:05～10:35（2122Mの地図上の鶏冠山）

10:50～11:45 2177 峰？ 12:00～13:20 木賊山（とくさ

やま、2469M）13:25～13:40 甲武信小屋（泊、8100円、15名宿泊）

6:00 に登山口駐車場で合流の約束であったが早く目が覚めてしまい早く家を出て、彼が車中泊予定の双葉SAに寄ってみる。彼の車が停まっていたので彼が食事から帰ってきたので、一緒に甲府昭和ICで高速を降りて西沢溪谷に向かう。



立派な道路が出来ていて140号線を走る。道の駅みとみには登山者用の駐車場も設備されている。トイレを済ませて、私の車を置いてNさんの車で西沢溪谷登山口の駐車場へ。

←鶏冠山を仰ぐ

目の前にこれから登る鶏冠山がそびえ立っている。立派な山容で鶏のトサカのように見える。何故鶏冠山に登る気になったかと言うと埼玉の山友達のUさんが10月に登ったとメールを貰った。ネットでも検索すると私好みの面白そうな登山道だ。登ろうと意識したのが10月の中旬だった。



#### ←鶏冠山登山口

我が家にNさんが来て山の話をした時に鶏冠山の話が出て、一緒に登ろうとの話になった。彼は三百名山達成まで残り35座、山梨百名山にも挑戦中との事だ。ネットで検索

すると山梨百名山の「ビック4」と書かれていた。難関の山4座に入っているようだ。(推測では策ヶ岳・鋸岳・鶏冠山、あと一つは農鳥岳?) 岩場と基本的には正規な登山道が無くてヤブ道と倒木が多くて難儀するようだ。道間違いをして苦労したとの記事が多く書かれている。私の古い山地図(1991年版)には鶏冠山(2122M)と鶏冠尾根との記述と1986Mと2177Mの標高点しか掲載されていないので本屋に最新版を見に行くが登山道は破線どころか全く記載されていない。(山梨百名山は人気で挑戦者が多いのに全く昭文社は腐りきっている、登山後の印象でも少なくとも鶏冠山までは破線で載せるべきだ) 西沢溪谷は昔七ツ釜五段ノ滝までグルット一回りした事がある。最近人気のよ

うな「徳ちゃん新道」を過ぎて吊り橋を渡ると渡渉点に出た。前日の雨での増水が気になっていたが何とか靴を濡らさずに渡れた。そして尾根上の急な登りが続く。道は落ち葉が乗っても判別できる「破線の登山道」と言える。



←チンネノコル

チンネノコルに到着、この辺から時々紛らわしいテープが出没してくる。上部で合流することもあるが基本的には踏み後の濃い方を歩く方が無難な感じだった。第一岩峰・第二岩峰共にそれほど苦労はしない、鎖に触らなくても登れた。岩の上で休むと岩稜地帯が続いていること

が良く分かった。第三岩峰はアタックしようとも考えたが、年を考えて巻き道を通った。分岐を左折して登るとすぐ山頂標に到着した。

岩場出現



登って来ました





岩場で一休み、奥は第三岩峰



第三岩峰は巻き道へ



此处からは国師ヶ岳が眼前に大きく見えた。この前後で今回の全てになる3パーティーに会った。(一人は山頂往復、他の2組は木賊山経由で徳ちゃん新道で下る日帰り組) この辺から倒木が多くなり、背の高いシャクナゲのジャングル道が多くなった。良く下を見れば踏み後はハッキリしているので迷う事はないが上部で合流するような別の踏み後も多い。

山頂手前で



鶏冠山山頂、左は国師ヶ岳



しばらく登ると本ピークらしき山頂があった。(プラスチックの割れた山名標

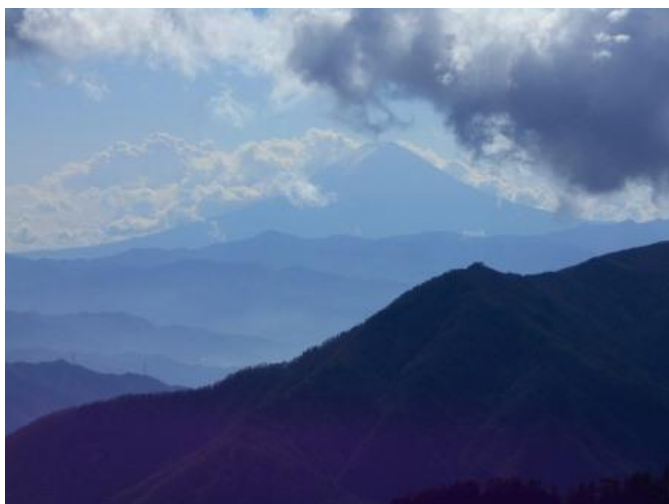


らしき一部分が石の下にあった、私の古い地図では 2122Mと記載されているが) さらに歩くと 2177M峰に到着。展望を楽しんで木賊山目指して歩くがシャクナゲのヤブはザックが引っ掛かる程度でそれほど苦にならないが、倒木をまたいだり、くぐったりで体力を奪われた感じ。荒沢岳では鎖の総数を知りたかったが、このルートでは倒木の総数が知りたいと思った。(数取り器を持参して数えてみたかった) 膝が疲れた頃やっと太い登山道に飛び出た、木賊山山頂だ。

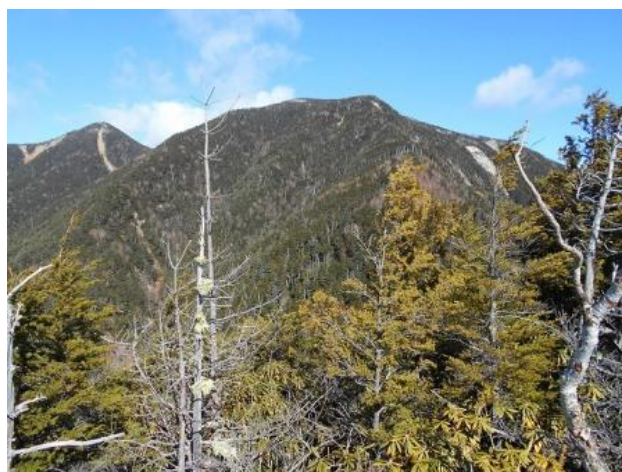
鶏冠山を振り返る



富士山



木賊山と左甲武信岳.



シャクナゲのヤブ道



私が終始トップでNさんが車間距離無ですぐ後ろで追われるように歩いたのでプレッシャーを感じて私にしては速足気味だったので予定より70分早く着いた。

小屋と甲武信岳が近くなりました。

## 木賊山

右は埼玉県の高尾山



この区間、ザックはシンプルな小型が理想的だと感じた。(小屋泊用のザックだったので、両脇のポケットには何も入れずに霧島神宮の登山お守りも外して歩いたが、ザックに装備されているバンド等が結構枝に引っかかったりした、後ろにNさんがいたので何度か外してもらって助かった) 確かに鶏冠山から木賊山間はシャクナゲ等が覆い被さっているが、踏み後はシッカリついているので迷う事は無いはずです。(私も3回ほど3~4歩道を外したけどすぐ間違いに気が付いた)「ヤマレコ」等ネットで予備知識として下調べは必要だと思いますが、チョット大げさな表現が多い感じもしました。

懐かしい甲武信小屋に到着、北アルプスには見られなくなった古い建物のままである。





←甲武信小屋

14:00 から受付との事で小屋の周辺を見て回る。気温は低くて寒い。遭難慰霊碑や荒川源流標の碑がある。Nさんは甲武信岳へ、私はパ

スして飲み始める。購入した缶ビールの空き缶も持ち帰るシステムは珍しいと思った。今日は何かと充実した登山だった。歩荷が着いたと思ったら小屋のオーナーだった。まだ若い。宿泊者は15名、夕食はシンプルなカレーライスだった。

赤沼 健治